



株式会社 ノジマ

〒231-0015 神奈川県横浜市中区尾上町6-90 HS大江橋ビル
TEL.050-3116-1212(代) FAX.050-3116-1250
「投資家のみなさま」専用メールアドレス info@nojima.co.jp

<http://www.nojima.co.jp>

■ い〜でじ!!ホームページURL

- い〜でじ!!本店 <http://www.enet-japan.com/>
- い〜でじ!!楽天市場店 <http://www.rakuten.co.jp/>
- い〜でじ!!楽天ゲーム館 <http://www.rakuten.co.jp/edigi-game/>
- い〜でじ!!楽天シネマ <http://www.rakuten.ne.jp/gold/cinema/>
- い〜でじ!!Yahoo店 <http://shopping.yahoo.co.jp/>
- い〜でじ!!映画館 <http://store.yahoo.co.jp/digiconeiga/>
- eでじ!!auモール店 <http://aumall.jp/user/6421973>
- eでじ!!Gamer's <http://aumall.jp/user/5551512>
- eでじ!!シアター <http://aumall.jp/user/5551423>
- eでじ!!WAVEモバイル <http://aumall.jp/user/5551499>
- Car Life Club <http://www.carlifeclub.jp/>

■ 株式会社テレマックス <http://www.telmax.co.jp>

■ 株式会社WAVE <http://www.waveweb.co.jp>



投資家のみなさまへ

第45期 事業報告書 平成18年4月1日▶平成19年3月31日





■ 全員経営理念

～お客様にさらに信頼されるノジマへ～

- 社会に貢献する経営
- オープンで公正な経営
- 独創的で革新的な経営
- 人間愛がある経営
- 向上心がある経営

■ ごあいさつ	P. 3
■ Q&A	P. 4
■ 財務ハイライト	P. 5～6
■ 決算の概況	P. 7～8
■ 連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
■ 品目別売上高	P. 10
■ 株式の概況	P. 10
■ トピックス	P. 11
■ 子会社の状況	P. 12
■ 当社グループ関連主要記事	P. 13～14
■ 会社の概要	P. 15
■ 営業店舗	P. 15～18
■ 株主メモ	P. 18

■ ごあいさつ

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益の改善と旺盛な海外需要などによる設備投資の増加、さらには製造業の輸出が高水準を維持し、いざなぎ景気を超える景気回復を継続しております。しかし一方、景気回復の個人消費への波及は足踏みをしております。

そうした状況下におきまして、家電流通業界における景気動向は依然厳しいものであり、引き続き厳しい価格競争下にあります。

また、それらを背景に家電流通業の再編も進みつつあります。大型薄型テレビの販売は、地上波デジタル放送の消費者による認知が進み、高画質が評価されることにより、数量的には順調な伸びを示したものの、価格競争の更なる激化が進み、収益への貢献は非常に限定的なものとなりました。

また、平成19年1月にWindows Vista™が発売されましたがパソコン市場を牽引していくほどの力強さはなく、季節商品も梅雨の長期化や暖冬の影響を受け販売は停滞いたしました。このような状況のなか、当期におけるノジマ本体の売上高は、前年比0.7%減となりました。

その主な要因は、薄型テレビやデジタル家電を中心とした商品の販売台数が伸びたものの市場における価格の下落が厳しかったことと、暖冬による季節関連商品の需要減の影響があったこと、及びパソコン需要の不振によるものです。

また、価格下落の影響から当初計画された売上総利益を確保することができませんでした。

店舗の状況といたしましては、9店舗の閉店、8店舗の開店とスクラップアンドビルドを進めると同時に、平成19年3月1日を合併期日として(株)真電との吸収合併を行いました。結果、21店舗が加算され合計79店舗(でんわ専門店15店舗は除く)となり、9,281坪の増床となりました。

しかし熾烈な価格競争による売上粗利益率の低下、さらには大型新店舗開店による販売費及び一般管理費における固定費の増加の結果、経常利益は大幅な減益となりました。その結果、当期の経営成績は、売上高946億99百万円(前期比0.7%減)、

経常利益8億68百万円(前期比62.8%減)、純利益1億74百万円(前期比86.6%減)となりました。また、グループ会社の経営成績は、ノジマ本体では前年とほぼ同程度の売上高を計上することができたものの、経常利益は前年の40%以下となりました。

通信携帯部門の連結子会社は増益となりましたものの同じく連結子会社である(株)イーネット・ジャパン及び(株)WAVEは経常損失であったため、全体の経常利益も前年の50%強と大幅減益となりました。尚、中間期末に貸借対照表のみ連結していた(株)インターデコ、

(株)ノジマ・システムエンジニアリングと(有)プロフィットの損益も連結したほか、新たに買収した四国新電電(株)が連結グループに加わりました。

その結果、グループ全体といたしましては、連結売上高1,279億10百万円(前期比8.4%増)、経常利益16億37百万円(前期比46.8%減)、当期純利益7億6百万円(前期比56.1%減)となりました。当社は、中長期的な経営戦略に基づく経営体質の強化を目的に、平成19年3月1日に

(株)真電との合併を予定どおり完了しました。両社は出店地域の重複がないため地域補完性が期待でき、商品アイテムにつきましても数多くのものが重複しており、仕入統合、本部統合等によりローコスト化、高効率化および財務体質の強化が期待できると考えておりますが、現状では(株)真電の店舗は小型でかつ低効率の店舗が多く、スクラップ&ビルドとオペレーションのノジマ化を早急に進め、業績に貢献できるように努力してまいります。



代表執行役社長 三枝 達実

■ Q&A

Q 46期の店舗展開はどうか?

A 当社の店舗展開の戦略としては、店舗数の拡大を目指すのではなく、スクラップ&ビルドを実践し、店舗数は現状を維持しつつ、売り場面積の増大をしながら効率の良い出店を方針としております。2期連続赤字の店舗は基本的に閉店を進め、さらには現在は黒字であっても将来性が見込めない店舗の撤退判断を迅速果敢に行います。また、大規模小売業者告示の施行、まちづくり3法の改正等、流通に関わる法律が大きく変わる中、大型店舗へのリニューアル並びに複合型ショッピングセンターへの進出を果たして行く予定です。また、併せて、お客様の立場に立った売場作りと仕組み作りを続けてまいります。旧 真電の店舗については、果敢にスクラップを進めます。

Q 46期の見通しについてお聞かせください。

A わが国の人口構造は少子高齢化が進展し、昨年がついに人口反転の年となりました。デジタル家電業界では薄型テレビに見られるように、販売数量は伸びているが販売単価の大幅ダウンと価格競争の激化が進み収益が圧迫されたり、個人向けパソコンのようにマーケット自体が縮小しているものなどが主因で業界では更なる消耗戦が継続されると予想されます。45期においては、連結では前年の売上を上回ったものの、単体では前年の売上を下回り、経常利益では連結、単体とも前年を下回りました。原因として、売上面ではWindows Vista™効果が余りなくパソコンの売上不振の流れは変わらず、販売単価の下落により数量の増加にもかかわらず、売上増加に結びつかないなど、他部門でカバーすることができませんでした。利益面では、粗利益率が悪化してしまい、当社のメーカーに対する価格交渉力の低下、接客への意識の低下が主な原因としてあげられます。携帯電話・デジタル放送・インターネット等の情報関連技術が発展している今日、商品、サービス面で関連のある部門での相乗効果を狙いノジマグループ内で組織変更を実施、通信の販売と卸部門・モバイル部門のソロンへの統合、家電部門であるノジマの組織変更を実施、その結果としてお客様にご満足いただける品揃え、サービスの充実を達成してまいります。

Q 今後のM&Aについてお聞かせください。

A 当社と経営理念を共有化でき、シナジー効果が期待できる会社、当社のマネジメント、経営資源を投入することで大きく飛躍する可能性がある会社については、引き続きM&Aの対象として検討いたします。



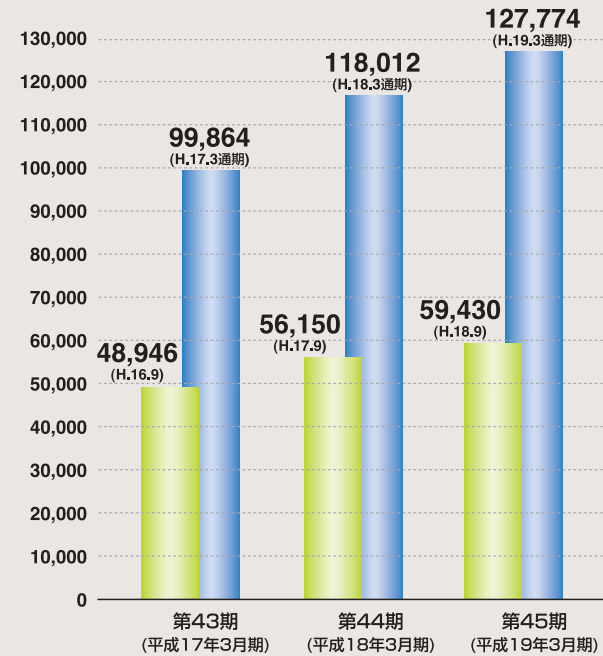
財務ハイライト (平成18年4月～平成19年3月)

連結

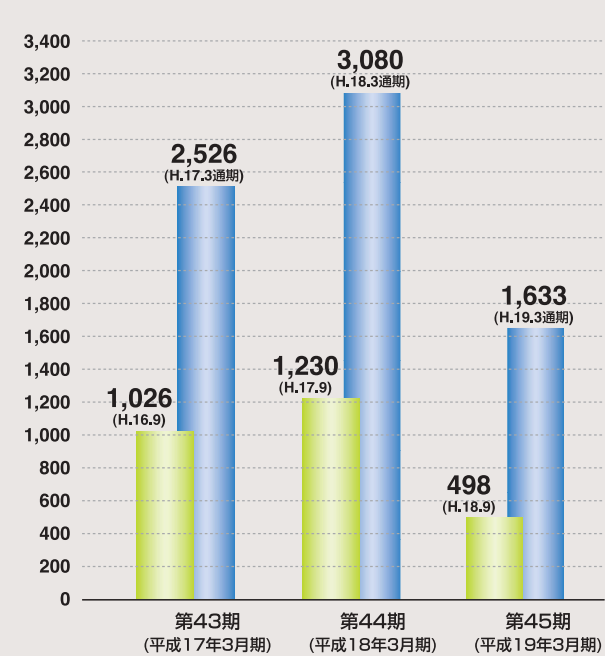
(単位:百万円、単位未満切り捨て)

■ 売上高 / 1,277億7,400万円 ■ 経常利益 / 16億3,300万円 ■ 純利益 / 7億700万円

売上高の推移 (単位:百万円)



経常利益の推移 (単位:百万円)



連結	第43期 平成17年3月通期	第44期 平成18年3月通期	第45期 平成19年3月通期
売上高	99,864	118,012	127,774
経常利益	2,526	3,080	1,633
純利益	1,019	1,608	707
1株当たり純利益(円)	72.45	111.07	43.55
総資産	34,778	40,905	56,896
純資産	7,519	10,805	15,501

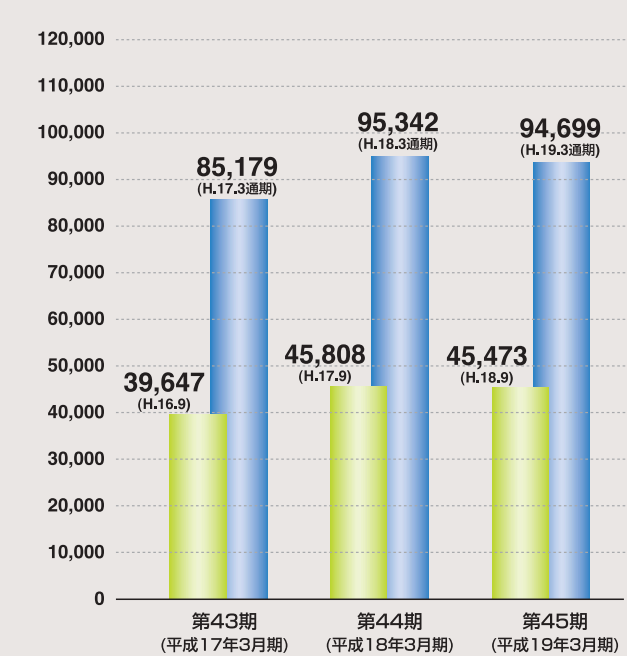
(単位:百万円、単位未満切り捨て)

単体

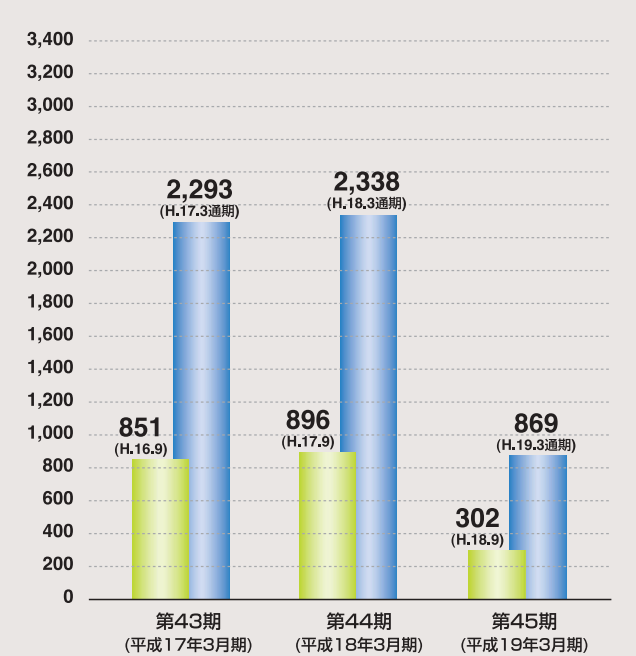
(単位:百万円、単位未満切り捨て)

■ 売上高 / 946億9,900万円 ■ 経常利益 / 8億7,200万円 ■ 純利益 / 2億2,100万円

売上高の推移 (単位:百万円)



経常利益の推移 (単位:百万円)



単体	第43期 平成17年3月通期	第44期 平成18年3月通期	第45期 平成19年3月通期
売上高	85,179	95,342	94,699
経常利益	2,293	2,338	869
純利益	857	1,298	174
1株当たり純利益(円)	60.95	89.71	10.75
総資産	30,772	34,746	48,804
純資産	7,044	10,020	13,891

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

■ 決算の概況 (平成19年3月31日現在)

連 結

貸借対照表(期末) 平成19年3月31日現在。前期は平成18年3月31日現在。

	第44期 (通期)	第45期 (通期)		第44期 (通期)	第45期 (通期)		第44期 (通期)	第45期 (通期)
資産の部			負債の部			純資産の部		
現金及び預金	6,204	11,373	支払手形及び買掛金	10,577	12,732	資本金	—	4,295
受取手形及び売掛金	6,242	7,573	短期借入金	1,700	4,100	資本剰余金	—	4,710
たな卸資産	12,342	12,938	1年以内返済予定長期借入金	3,043	3,864	利益剰余金	—	6,193
その他	1,777	3,106	1年以内償還予定社債	1,070	520	自己株式	—	▲32
貸倒引当金	▲27	▲32	未払金	2,432	3,092	その他有価証券評価差額金	—	46
流動資産合計	26,538	34,959	未払法人税等	959	451	少数株主持分	—	287
建物及び構築物	3,794	5,393	その他	1,232	1,105	純資産合計	—	15,501
土地	1,644	3,166	流動負債合計	21,015	21,866	負債純資産合計	—	57,013
その他	1,238	1,789	社債	560	40	損益計算書(通期) 平成19年3月31日現在。前期は平成18年3月31日現在。		
有形固定資産合計	6,677	10,348	長期借入金	6,022	7,007		第44期 (通期)	第45期 (通期)
無形固定資産合計	632	1,600	退職給付引当金	900	948	売上高	118,012	127,774
差入敷金及び保証金	5,353	6,029	負ののれん	—	5,931	売上原価	99,267	105,831
その他	1,729	3,984	その他	1,370	1,600	売上総利益	18,744	21,942
投資その他の資産合計	7,057	9,988	固定負債合計	8,852	15,528	販売費及び一般管理費	16,332	21,248
固定資産合計	14,366	21,936	負債の部合計	29,867	41,395	営業利益	2,411	694
資産の部合計	40,905	56,896	少数株主持分			営業外収益	953	1,268
			少数株主持分	233	286	営業外費用	284	329
			資本の部			経常利益	3,080	1,633
			資本金	2,430	—	特別利益	134	167
			資本剰余金	2,845	—	特別損失	392	611
			利益剰余金	5,546	—	税金等調整前当期純利益	2,822	1,189
			その他有価証券評価差額金	60	—	法人税、住民税及び事業税	1,211	590
			自己株式	▲76	—	法人税等調整額	26	75
			資本の部合計	10,805	—	少数株主損失	24	183
			負債・少数株主持分及び資本の部合計	40,905	—	当期純利益	1,608	707

単 体

貸借対照表(期末) 平成19年3月31日現在。前期は平成18年3月31日現在。

	第44期 (通期)	第45期 (通期)		第44期 (通期)	第45期 (通期)		第44期 (通期)	第45期 (通期)
資産の部			負債の部			純資産の部		
現金及び預金	4,893	9,640	支払手形	31	—	資本金	—	4,295
売掛金	4,032	4,844	買掛金	8,542	10,354	資本剰余金	—	4,710
たな卸資産	9,838	10,841	短期借入金	200	2,700	利益剰余金	—	4,871
その他	1,675	2,834	1年以内返済予定長期借入金	2,983	3,612	自己株式	—	▲32
流動資産合計	20,440	28,161	1年以内償還予定社債	1,050	500	その他有価証券評価差額金	—	45
建物	3,443	4,922	未払金	2,077	2,480	純資産合計	—	13,891
土地	1,644	3,166	未払法人税等	673	49	負債純資産合計	—	48,804
その他	1,025	1,617	その他	825	917	損益計算書(通期) 平成19年3月31日現在。前期は平成18年3月31日現在。		
有形固定資産合計	6,114	9,706	流動負債合計	16,384	20,615		第44期 (通期)	第45期 (通期)
無形固定資産合計	181	243	社債	500	—	売上高	95,342	94,699
差入敷金及び保証金	4,992	5,567	長期借入金	5,907	6,320	売上原価	79,975	79,155
その他	3,016	5,125	退職給付引当金	673	722	売上総利益	15,367	15,544
投資その他の資産合計	8,009	10,693	負ののれん	—	5,763	販売費及び一般管理費	13,650	15,494
固定資産合計	14,305	20,642	その他	1,260	1,492	営業利益	1,716	49
資産の部合計	34,746	48,804	固定負債合計	8,341	14,297	営業外収益	892	1,093
			負債の部合計	24,725	34,912	営業外費用	269	273
			資本の部			経常利益	2,338	869
			資本金	2,430	—	特別利益	116	—
			資本剰余金	2,845	—	特別損失	242	592
			利益準備金	80	—	税引前当期純利益	2,213	277
			任意積立金	97	—	法人税、住民税及び事業税	854	34
			当期末処分利益	4,584	—	法人税等調整額	59	67
			その他有価証券評価差額金	60	—	当期純利益	1,298	174
			自己株式	▲76	—	自己株式処分差損	—	▲8
			資本の部合計	10,020	—	中間配当額	—	69
			負債・資本合計	34,746	—	前期繰越利益	3,364	—
						当期末処分利益	4,584	—

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで。前期は平成17年4月1日から平成18年3月31日まで。

営業活動によるキャッシュ・フロー

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

区分	期別	第44期 (通期)	第45期 (通期)
税金等調整前当期純利益		2,822	1,157
有形固定資産減価償却費		747	1,116
減損損失		38	338
のれん及び負ののれん償却額		69	130
退職給付引当金の増加額		16	37
貸倒引当金の減少額		▲438	4
販売商品保証引当金の増加額(▲減少額)		▲79	95
受取利息及び受取配当金		▲34	▲48
支払利息		194	228
持分法変動益		—	▲158
固定資産売却損		—	148
保証金等解約損		7	25
投資有価証券売却益		▲70	▲3
投資有価証券評価益		▲46	—
投資有価証券評価損		—	49
その他流動資産の増加額		▲261	—
その他		▲481	851
小計		2,483	3,969
利息及び配当金の受取額		34	48
利息の支払額		▲220	▲226
法人税等の支払額		▲908	▲1,041
営業活動によるキャッシュ・フロー		1,388	2,748

投資活動によるキャッシュ・フロー

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

区分	期別	第44期 (通期)	第45期 (通期)
定期預金の預入による支出		▲140	▲31
連結範囲変更を伴う子会社株式取得による支出		▲193	▲1,261
無形固定資産取得による支出		▲269	▲208
長期前払費用の取得による支出		▲63	▲12
貸付による支出		—	▲177
貸付金回収による収入		500	107
その他		▲1,155	▲2,007
投資活動によるキャッシュ・フロー		▲1,321	▲3,591

財務活動によるキャッシュ・フロー

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

区分	期別	第44期 (通期)	第45期 (通期)
短期借入金の減少額		▲391	2,400
長期借入による収入		3,000	3,648
長期借入金の返済による支出		▲2,479	▲1,922
社債の発行による収入		1,000	—
社債の償還による支出		▲120	▲1,070
株式の発行による収入		800	—
少数株主へ株式発行による収入		1	205
自己株式取得による支出		▲9	▲68
配当金の支払額		▲140	▲187
財務活動によるキャッシュ・フロー		1,660	3,006

現金及び現金同等物の増(▲減)額	1,727	2,163
現金及び現金同等物期首残高	3,153	4,881
現金及び現金同等物期末残高	4,881	10,763

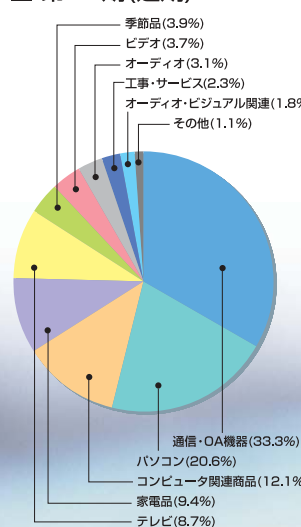
■ 品目別売上高

(平成19年3月31日現在)

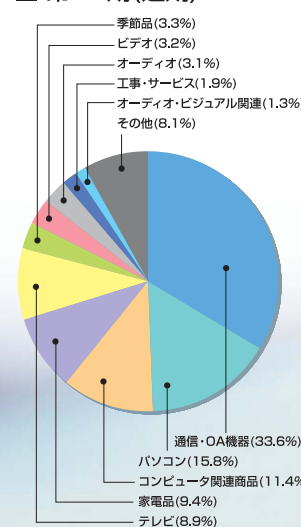
区分	期別	前決算	当決算
		連結会計期間 (平成17年4月1日 平成18年3月31日)	連結会計期間 (平成18年4月1日 平成19年3月31日)
通信・OA機器		39,257	42,947
パソコン		24,355	20,228
コンピュータ関連商品		14,226	14,565
家電品		11,108	11,955
テレビ		10,313	11,392
季節品		4,559	4,173
ビデオ		4,363	4,046
オーディオ		3,683	4,014
工事・サービス		2,656	2,439
オーディオ・ビジュアル関連商品		2,134	1,675
その他		1,353	10,335
合計		118,012	127,774

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

■ 第44期(通期)



■ 第45期(通期)



■ 株式の概況

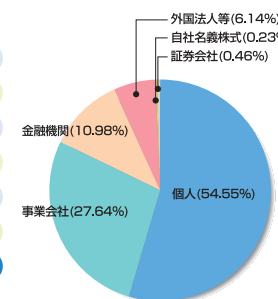
(平成19年3月31日現在)

■ 株式分布状況

- 会社が発行する株式の総数 85,000,000 株
- 発行済株式の総数 21,578,538 株
- 1単元の株式数 100 株
- 株主数 6,549 名

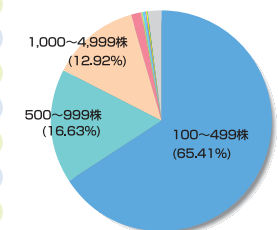
■ 株式の所有者別分布

個人	11,769,991 株	54.55 %
事業会社	5,943,940 株	27.64 %
金融機関	2,371,560 株	10.98 %
外国法人等	1,325,520 株	6.14 %
自社名義株式	48,833 株	0.23 %
証券会社	98,694 株	0.46 %
合計	21,578,138 株	100.00 %



■ 株式の所有数別分布状況

100~499株	65.41 %
500~999株	16.63 %
1,000~4,999株	12.92 %
5,000~9,999株	1.46 %
10,000~49,999株	0.24 %
50,000~99,999株	0.15 %
100,000~499,999株	0.35 %
500,000~999,999株	0.15 %
1,000,000~4,999,999株	0.08 %
その他	2.01 %
合計	100.00 %



トピックス

1 スクラップ&ビルドを原則とした大型店出店

第45期に置きましては(旧)沼津店、(旧)湯河原店、コムドック湯河原店、古淵店、(旧)相模原店、八王子南店、多摩境店、越谷店、コムドック溝の口の9店舗を閉店、守谷店、沼津店、湯河原店、相模原本店、八王子みなみ野店、能見台店、丸井草加店、ららぽーと店の8店舗を新規オープンまたは大型化し移設オープンしました。また、3月には新潟市に株式会社真電との合併後初のノジマ型オペレーションの1号店として、白根店をオープンしました。また、出店については大規模小売業者告示の施行、まちづくり3法の改正等、流通に関わる法律が大きく変わる中、大型商業施設内への出店を出店計画の基本戦略としてまいりました。長期的な視点で競合他社との戦いを進めるべく、スクラップ&ビルドとローコストオペレーションを原則にしながらか戦略的に出店を進めております。

2 (株)真電との合併

2007年3月、当社と株式会社真電は合併いたしました。真電は新潟県を拠点とし21店舗を運営しています。新潟県内での家電量販店の先駆者であり財務体質は優良、合併による仕入れの一本化で調達コストを抑え、出店地域が重複せず補完性が高いことを狙い合併しました。但し小型店が多く、他社の大型店舗との競争に立ち遅れているため、スクラップ&ビルドを進め、店舗の整備とノジマ型ローコストオペレーションを積極的に進め、経営状況の改善に取り組みます。

3 通信機器販売部門の会社分割

2007年4月1日、当社通信部門をソロン株式会社に統合、分社化いたしました。ノジマグループでは今までは携帯電話端末等の通信機器の卸売をソロンが担当し、同商品の販売および付帯するサービスの受付等を当社の販売部門が担当しておりました。当社は、よりスピード感のあるサービスと質の高い商品を提供すること、通信部門の収益を他の部門と切り離して把握することを目的として、通信機器の販売部門を当社より分割し、卸売会社であるソロンに承継させ、販売部門と卸売部門との連携を一層強化拡充し、一体化した効率経営を目指します。

4 内部統制グループの新設

J-SOX法対応と合わせて当社の内部体制の一層の強化の為、専任部署である内部統制グループを新設。J-SOX法への対応を通して業務プロセスを洗い出し、財務報告のさらなる適正化、会社業務の標準化、組織の改善、強化を図ってまいります。



子会社の状況

1 Eコマース子会社(株)イーネット・ジャパン

当社のビジネスは、リアル店舗をもたない販売形態をとっており、当社独自のインターネットサイトや、楽天、Yahooが運営するインターネット・ショッピングモールを中心に出店し、DVDソフト、オーディオ・ビジュアル、パソコン関連、家電、ゲームソフト、カー用品等を販売しております。平成18年度上半期には、日本テレホン株式会社よりインターネット通信販売事業の営業権を、下半期には長瀬産業株式会社のDVD通信販売事業を譲受け、会員数の増強を図ると共に、モバイルコマース市場へも進出し、auとの結びつきを強め、携帯電話を通じて手軽に・簡単に買い物を楽しめるよう、お客様のご便宜を図ってまいりました。しかしながら当社の主力商品であるAV・家電・パソコン商品等のEコマース市場での価格競争は一層厳しく、DVDソフトも割引競争が激化しているため、平成18年度通期売上高は前年比99.8%の8,995百万円となりました。今後もEコマース市場はさらに拡大しますが、デジタル商品は引き続き激しい価格競争が予測されますので、平成19年4月、新たにオープンしたカー用品専門サイト「Car Life Club (カーライフクラブ)」や自社サイトを中心に取扱商品の拡大と更に充実した品揃えに注力して、お客様に十分楽しんでいただける店づくりを進めます。



2 通信事業子会社ソロン(株)および(株)テレマックス

通信グループとしては、前期は上期については人員調整が不十分であったことにより一人当たりの販売本数のダウンによる効率の悪化と、競合他社との価格競争にまきこまれ苦戦をしたのが現実でした。下期については人員の見直し等の実施により利益面ではかなりの改善が進みました。ただし、競合の環境については生き残り戦争となっているのが現実であり、引き続き台数については思うようなアップが図れなかったのが残念な結果です。今期については、ノジマウェイといった指導しやすい基本線がはっきりと本にされて提示されたこともあり、この基本線を行動の基本として取り組みます。更に店舗側、接客販売部からの積極的な企画立案を上げていただける環境の整備を進め、良いものは全店に水平展開できるように積極策で本数アップにも取り組んでいきます。効率面においても、下期の実績を参考として今期についても引き続き人員効率のアップに努めます。通信グループとして独立したこともあり、会社は人で決まる、その人の成長が会社を成長させるのですから、人材を多く抱えるグループとなるように、各自が邁進できる会社として今期は取り組んでまいります。

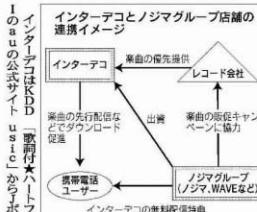


3 音楽・映像ソフト販売子会社(株)WAVE

平成18年度通期につきましては、当社は、ストアコンディションの向上を主としてリアル店舗の営業力強化と共に、3店舗の新規出店並びに3店舗の不採算店舗の撤収を実施し、営業効率改善に取り組みました。また、(株)イーネット・ジャパン傘下にてEコマース事業への取組みを開始いたしました。しかしながら、少子高齢化による主力顧客層の減少、Eコマース・音楽配信の伸長、価格競争等により、当社の属する音楽ソフト小売業界においては、平成18年度音楽ソフト生産実績が、前年比96.3%と8期連続して前年を下回る厳しい環境となり、残念ながら、平成18年度売上高は前年比90.0%の8,383百万円となりました。第16期におきましては、リアル店舗の収益力強化を最優先課題と捉え、営業力強化に加え、粗利益率の改善、労務生産性の向上をはかっていくと共に、店舗事業以外につきましても、Eコマース事業では新たに自社サイト並びにモバイルサイトの立ち上げに取り組みます。また、新たな取り組みとして、当社の戦略ターゲット層である大人世代向けのレーベル事業を開始し、音楽映像ソフト専門販売社として、より幅広いお客様にご満足いただけるよう、取り組んでまいります。

ノジマ、店舗を広告媒体に

WAVEなど活用



ノジマはグループ店舗を、子会社のデジタルメディア「インターネットラジオ」を軸に、WAVEなど活用し、店舗を広告媒体に活用する。ノジマは、インターネットラジオを通じて、店舗の売上を伸ばす。また、インターネットラジオを通じて、店舗の売上を伸ばす。また、インターネットラジオを通じて、店舗の売上を伸ばす。

▲日経流通新聞(2006.9.18)

audio square相模原

ノジマ誕生の地に戻ってきたお客様 オーディオ「300万1商圏」へ果敢に挑む



ハイファイオーディオの本格復活へ挑戦を上げたノジマ、「オーディオスクエア相模原」を立ち上げてから2年。特選の22万のオーディオスクエアが、ノジマ誕生の地「相模原」に昨秋誕生した。地の利を活かして順調な売り出しを見せる中、「3店目は」という開業の高まる期待に、確かな手応えを窺いあつた。

京急ストアに家電店

京急百貨店の食品を、暫く集約し、空いたスペースに、京急ストア「1階部分を京急百貨店のスペースに活用する。ノジマが、京急百貨店のスペースに活用する。ノジマが、京急百貨店のスペースに活用する。

家電量販店のノジマ



ノジマは、家電量販店の店舗を、インターネットラジオを通じて、店舗の売上を伸ばす。また、インターネットラジオを通じて、店舗の売上を伸ばす。また、インターネットラジオを通じて、店舗の売上を伸ばす。

▲Senka21(2007.4)

ノジマの現状

ノジマの現状は、インターネットラジオを通じて、店舗の売上を伸ばす。また、インターネットラジオを通じて、店舗の売上を伸ばす。また、インターネットラジオを通じて、店舗の売上を伸ばす。

▲日経流通新聞(2006.10.2)

家電量販店のノジマ

ノジマは、家電量販店の店舗を、インターネットラジオを通じて、店舗の売上を伸ばす。また、インターネットラジオを通じて、店舗の売上を伸ばす。また、インターネットラジオを通じて、店舗の売上を伸ばす。

ノジマ 真電を吸収合併へ

ノジマは、真電を吸収合併する。ノジマは、真電を吸収合併する。ノジマは、真電を吸収合併する。ノジマは、真電を吸収合併する。

資産活用へ手腕問われる

ノジマは、資産活用を推進する。ノジマは、資産活用を推進する。ノジマは、資産活用を推進する。ノジマは、資産活用を推進する。

▲日経金融新聞(2006.10.31)

▲日本経済新聞(2007.4.3)

理念先行 見えぬ戦略

ノジマは、理念先行の戦略を推進する。ノジマは、理念先行の戦略を推進する。ノジマは、理念先行の戦略を推進する。ノジマは、理念先行の戦略を推進する。

割安な真電株、リスク限定的

ノジマは、割安な真電株を推進する。ノジマは、割安な真電株を推進する。ノジマは、割安な真電株を推進する。ノジマは、割安な真電株を推進する。

真電白根店きよう開業

ノジマは、真電白根店を開業する。ノジマは、真電白根店を開業する。ノジマは、真電白根店を開業する。ノジマは、真電白根店を開業する。

▲日経流通新聞(2007.3.28)

▲日本経済新聞(2007.3.10)

当社グループ関連主要記事

真電、ノジマが吸収合併

項目	ノジマ (存続会社)	真電 (解散)
本社	神奈川県相模原市	新崎市
代表者	野島広司(社長)	真野一(社長)
売上高	1180億円	80億円
経常利益	31億円	1.2億円
店舗数	60店	20店
従業員数	515人	229人
一店当たりの経常利益	636円	1045円
株価	790円	350円

▲日経流通新聞(2006.10.20)

真電と合併契約

ノジマは、真電と合併契約を締結する。ノジマは、真電と合併契約を締結する。ノジマは、真電と合併契約を締結する。ノジマは、真電と合併契約を締結する。

▲日経流通新聞(2006.12.4)

競争下でも「優しき」忘れず

ノジマは、競争下でも「優しき」を忘れず。ノジマは、競争下でも「優しき」を忘れず。ノジマは、競争下でも「優しき」を忘れず。ノジマは、競争下でも「優しき」を忘れず。

▲日経流通新聞(2007.3.10)

■ 会社の概要 (平成19年3月31日現在)

商 号	株式会社 ノジマ (店頭登録：7419)	
英 文 名	NOJIMA CORPORATION	
本社所在地	〒231-0015 神奈川県横浜市中区尾上町6-90 HS大江橋ビル5F TEL：050(3116)1212 FAX：050(3116)1250 URL：http://www.nojima.co.jp	
設 立	昭和37年4月	
資 本 金	42億9,574万円	
役 員	<ul style="list-style-type: none"> ● 取締役兼代表執行役会長 / 野島 廣司 ● 取 締 役 / 小林 稔忠 (社外) ● 取締役兼代表執行役社長 / 三枝 達実 ● 取 締 役 / 戸谷 雅美 (社外) ● 取締役兼執行役常務 / 中塚 康二 ● 取 締 役 / 北村 一夫 (社外) ● 取締役兼執行役 / 庄司 友彦 ● 取 締 役 / 梅津 武 (社外) ● 取 締 役 / 石坂 洋三 ● 取 締 役 / 石井 允三幸 (社外) ● 取締役兼執行役 / 米津 正義 ● 執行 役 / 佐藤 丈三 ● 取 締 役 / 池戸 亨 ● 執行 役 / 温盛 元 ● 取 締 役 / 桜井 威 ● 執行 役 / 倉持 昭彦 ● 取 締 役 / 仙波 昂 (社外) 	
社 員 数	704名(平成19年3月31日現在) 平均年齢/34.4歳	
業 務 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ● パソコン、プリンター等のIT・情報関連 ● 携帯電話、PHS、FAX等の通信関連 ● TV、ビデオ、ムービー等のAV関連 ● ゲーム機器の家庭用ゲーム関連 ● エアコン、冷蔵庫、電子レンジ等の家庭用電気製品の販売 <p>※ 店舗名称は、「ノジマ」「でんわ館」と専門性を活かした独自の業態で展開</p> <p style="text-align: right;">各種機器及びソフトの販売</p>	
連結子会社	<ul style="list-style-type: none"> ● (株)イーネット・ジャパン / インターネットショップ「い〜でじ!!」運営 ● ソロン(株) / 通信機器卸売 ● (株)テレマックス / 駅前立地型携帯電話・PHS等通信機器専門店 ● (株)ウェィヴ / CD・DVD等の音楽・映像ソフトの販売 ● (株)オー.ティ.エス / 一般労働者派遣事業及び有料職業紹介事業 	
主要取引先	<ul style="list-style-type: none"> ● ソニーマーケティング ● 松下コンシューマエレクトロニクス ● NECパーソナルプロダクツ ● 東芝コンシューママーケティング ● シャープエレクトロニクスマーケティング ● 富士通パーソナルズ ● 三菱電機ライフネットワーク ● エプソン販売 ● キヤノンマーケティングジャパン ● NTTドコモ ● ソフトバンク ● au ほか 	
取 引 銀 行	<ul style="list-style-type: none"> ● 三菱東京UFJ銀行 / 相模原支社 ● 横浜銀行 / 相模原駅前支店 ● みずほ銀行 / 町田支店 ほか 	

■ 営業店舗 (平成19年4月30日現在)

神奈川県	相模原市 ● 相模原本店 042-753-1516	静岡県	伊東市 ● 伊東店 0557-35-3001
	津久井郡 ● 新城山店 042-783-0611		沼津市 ● 沼津店 055-927-2951
	座間市 ● 座間店 046-298-1701		裾野市 ● 裾野店 055-994-1530
	厚木市 ● NEW厚木店 046-296-6121		富士市 ● 富士店 0545-65-7021
	愛甲郡 ● 愛川店 046-284-1562		静岡市 ● 岡町店 054-355-0395
	伊勢原市 ● 伊勢原店 0463-91-1214		藤枝市 ● 藤枝店 054-647-2222
	秦野市 ● 秦野店 0463-83-1214		掛川市 ● 掛川店 0537-61-9661
	川崎市 ● 東名川崎店 044-871-8371		磐田市 ● 磐田店 0538-21-2371
	● 溝の口店 044-822-2525	長野県	松本市 ● 松本店 0263-85-4457
	横浜市 ● NEW青葉台店 045-962-4886		安曇野市 ● 豊科店 0263-71-1570
	● 横浜四季の森店 045-958-1561	山梨県	甲府市 ● NEW甲府店 055-228-2911
	● 能見台店 045-770-6630		都留市 ● 都留店 0554-46-1422
	● さらぼーと横浜店 045-929-6252		富士吉田市 ● 富士吉田店 0553-30-0011
	● センター北店 045-914-7661		韮崎市 ● 韮崎店 0551-30-0021
	藤沢市 ● 藤沢店 0466-31-6377	茨城県	守谷市 ● 守谷店 0297-21-1550
	● 湘南台店 0466-46-7822	新業態店	
	茅ヶ崎市 ● 茅ヶ崎店 0467-54-0880	神奈川県	藤沢市 ● オーディオ スクウェア藤沢店 0466-31-0603
	綾瀬市 ● 綾瀬店 0467-79-5279		● 法人営業グループ(藤沢) 0466-31-6377
	小田原市 ● 鴨宮 家電館 0465-49-1230		座間市 ● 法人営業グループ(座間) 046-298-1701
	● 鴨宮店 0465-45-2345		鎌倉市 ● 法人営業グループ(鎌倉) 0467-42-1422
	足柄上郡 ● 大井松田店 0465-82-8168		相模原市 ● オーディオ スクウェア相模原本店 042-730-1326
	足柄下郡 ● 湯河原店 0465-64-1688		● 法人営業グループ(相模原) 042-769-7294
	鎌倉市 ● 鎌倉店 0467-42-1422	東京都	武蔵村山市 ● Digital+ (デジタルプラス) 042-590-1522
東京都	港区 ● 六本木店 03-5771-4738	真電事業部	
	足立区 ● 北千住マルチ店(8F) 03-3888-7571		● 真電事業本部 025-245-8211
	中野区 ● 丸井中野本店(A館4F) 03-3229-2011		● 真電村上店 0245-53-4411
	江東区 ● 豊洲店 03-3533-9211		● 真電新発田店 0254-24-0100
	町田市 ● 忠生店 042-792-3151		● 真電五泉店 0250-42-1111
	● NEW鶴川店 042-737-6031		● 真電水原店 0250-63-2500
	国分寺市 ● マルフファミリー国分寺店(7F) 042-326-6511		● 真電新津店 0250-21-1600
	小平市 ● 小平店 042-343-1422		● 真電巻店 0256-73-2560
	青梅市 ● NEW青梅デジタル館 0428-32-1215		● 真電吉田店 0256-93-5151
	● 青梅家電館 0428-31-0850		● 真電白根店 025-373-4500
	あきる野市 ● あきる野とうきゅう店 042-559-1400		● 真電加茂店 0256-52-5100
	八王子市 ● 八王子みなみ野店 042-632-2620		● 真電三条店 0256-34-4161
埼玉県	所沢市 ● 所沢本店 04-2903-1481		● 真電新潟本店 025-243-6500
	● 東所沢店 04-2951-1545		● 真電Hillリビングプラザ店 025-286-4155
	さいたま市 ● 大宮店 048-661-8366		● 真電小新店 025-201-1660
	● 浦和店 048-712-4811		● 真電佐渡店 0259-63-6300
	上尾市 ● NEW上尾店 048-773-5577		● 真電見附店 0258-63-3220
	草加市 ● 丸井草加店(5F) 048-920-5360		● 真電長岡店 0258-20-5411
	吉川市 ● 吉川店 048-984-1020		● 真電小出店 025-792-8110
	入間郡 ● 三芳店 049-274-1650		● 真電十日町店 025-752-5131
千葉県	市川市 ● 市川店 047-329-6901		● 真電柏崎店 0257-24-5588
			● 真電上越店 025-544-4466
			● 真電新井店 0255-72-9500
			● 真電新潟サービスセンター 025-286-4811

通信専門店		
神奈川県	相模原市 ● でんわ館 相模原本店 042-769-6928	
	● ドコモサービスコーナー相模原店 042-730-1967	
	● auショップ相模原本店 042-751-5007	
	● ソフトバンク相模原本店 042-769-0075	
	● ツーカーショップ相模原本店 042-769-6932	
	● ソフトバンク相模原駅ビル店 042-730-7861	
	● ドコモショップミヅィ橋本店 0120-820-660	
	● でんわ館EXPRESS 厚木店 046-297-1030	
	厚木市 ● ドコモソフト向ヶ丘遊園店 0120-353-360	
	● ドコモショップ新百合ヶ丘店 0120-650-150	
	● ソフトバンク新百合ヶ丘店 044-959-1270	
	● ドコモソフトたまプラーザ店 0120-082-477	
	川崎市 ● でんわ館EXPRESS 鶴宮店 0465-45-2344	
東京都	港区 ● でんわ館 六本木店 03-5771-4736	
	● auショップ西新宿店 03-5845-6151	
	小平市 ● でんわ館 小平店 042-343-5401	
	府中市 ● でんわ館 府中店 042-358-5511	
	武蔵村山市 ● DENWAKAN 042-590-1455	
静岡県	榛原郡 ● ドコモショップ榛原店 0120-345-595	
山梨県	富士吉田市 ● でんわ館 富士吉田店 0555-21-1012	

■ い〜でじ!!本店	http://www.enet-japan.com/
■ い〜でじ!!楽天市場店	http://www.rakuten.co.jp/
■ い〜でじ!!楽天ゲーム館	http://www.rakuten.co.jp/edigi-game/
■ い〜でじ!!楽天シネマ	http://www.rakuten.ne.jp/gold/cinema/
■ い〜でじ!!Yahoo店	http://shopping.yahoo.co.jp/
■ い〜でじ!!映画館	http://store.yahoo.co.jp/digiconeiga/
■ eでじ!!auモール店	http://aumall.jp/user/6421973
■ eでじ!!Gamer's	http://aumall.jp/user/5551512
■ eでじ!!シアター	http://aumall.jp/user/5551423
■ eでじ!!WAVEモバイル	http://aumall.jp/user/5551499
■ Car Life Club	http://www.carlifeclub.jp/

■ 営業店舗 (平成19年3月31日現在)

テレマックス 営業店舗一覧

神奈川県	相模原市	● ミウイ橋本店	042-700-7559	
	横浜市	● ダイエー戸塚店	045-860-1333	
		● モザイクモール港北店	045-914-2857	
		● ダイエーニッポウ店	045-360-6248	
		● イトーヨーカドー上大岡店	045-840-0234	
		● エスポット新横浜店	045-533-5281	
		● 京急ストア鶴見東店	045-508-6181	
		● スーパービバホーム長津田店	045-989-5188	
	川崎市	● マルエツ溝の口店	044-822-9326	
		● アコルテ新百合ヶ丘店	044-955-6028	
平塚市	● ラスカ平塚店	0463-20-2031		
小田原市	● ダイナシティイーストモール店	0465-46-1151		
横浜質市	● ショッパーズプラザ横浜質店	046-820-0168		
東京都	江東区	● 東京イースト21店	03-5634-7481	
	足立区	● 西新井トスカ店	03-5681-6001	
		● エトセトラ綾瀬店	03-5673-5231	
	大田区	● アトレ大森店	03-5764-8241	
	板橋区	● ダイエー成増店	03-5967-0388	
	西東京市	● ひばりが丘/リコ店	042-425-5030	
	多摩市	● グリナード永山店	042-356-8761	
		● 丘の上プラザ店	042-338-5901	
	日野市	● auショップ高幡不動駅前店	042-599-7431	
	八王子市	● 京王八王子SC店	042-660-5023	
	世田谷区	● 成城学園前店	03-5429-0581	
		● 下北沢駅前店	03-5779-3621	
		● 経堂駅前店	03-5450-7511	
	新宿区	● 高田馬場店	03-5292-0531	
	府中市	● くるる府中店	042-358-2521	
	町田市	● 町田modi店	042-790-7595	
	青梅市	● カインズホーム青梅インター店	0428-30-7720	
	埼玉県	所沢市	● 新所沢バレイコ店	042-925-8714
		ふじみ野市	● ビバモール埼玉大井店	049-256-8811
	● ココネ上福岡店		049-256-6151	
飯能市	● 飯能サピア店	042-971-1441		
蕨市	● イトーヨーカドー錦町店	048-447-7735		
越谷市	● 新越谷ファミリィ店	048-986-0412		
桶川市	● 桶川メイン店	048-789-0701		
さいたま市	● 大宮ロフト店	048-648-6201		
川越市	● 川越モディ店	049-273-7870		
千葉県	千葉市	● プレナ幕張店	043-299-6100	
	● 千葉オーロラモールジュンヌ店	043-301-9791		
船橋市	● サミット馬込沢店	047-429-1408		
鎌ヶ谷市	● アクロスモール新鎌ヶ谷店	047-441-5811		
流山市	● 流山おおたかの森SC店	04-7178-2001		
静岡県	静岡市	● 清水店	054-344-6811	

株式会社WAVE 営業店舗一覧

本 社	〒231-0015 神奈川県横浜市中央区尾上町6-90 HS大江橋ビル5F	
	● 営業本部 店舗運営部	050-3116-2966
	● 管理本部 経営企画室	050-3116-2948
池袋本店	〒171-0022 東京都豊島区南池袋1-28-1 西武百貨店池袋店12F	
	● 代表	03-5949-5670
東京都	● 汐留店	03-5537-2642
	● 光が丘店	03-3976-7401
	● みずほ店	042-556-4762
	● 田無店	042-466-1499
	● 錦糸町店	03-3632-7133
	● 大泉店	03-3978-5906
	● 大宮店	048-648-6916
	● 大宮宮原ステラタウン店	048-653-4550
	● 川口店	048-262-1094
	● 三郷店	048-954-1828
その他関東・東北	● 小手指店	04-2923-7650
	● 新所沢店	04-2998-8030
	● 所沢店	04-2927-3313
	● 成田店	0476-23-8252
	● 船橋店	047-425-3289
	● 東戸塚店	045-827-0191
	● 佐野店	0283-21-6123
	● つくばクレオスクエアQ't店	029-855-5621
	● 仙台東町店	022-308-2689
	● 松本店	0263-38-2265
中 部	● 大垣店	0584-78-0972
	● 木曽川店	0586-86-9627
近畿・中国	● 高槻店	072-684-2211
	● 伊丹店	072-770-2955
	● 奈良登美ヶ丘店	0743-70-1357
	● イオン大日店	06-4252-3638
	● 神戸北店	078-983-3419

四国新電電株式会社 営業店舗一覧

本 社	〒761-8083 香川県高松市三名町字上原田569-3	087-815-7780
	● ウィルコムカウンター高松	087-863-6450
	● auショップ空港通り店	087-815-7370
	● auショップ高松中央	087-863-6600
	● auショップ屋島	087-841-2112
	● auショップ志度	087-894-7122
	● auショップ三本松	0879-23-1351
	● auショップ三木	087-891-9980
	● auショップ宇多津	0877-59-9870
	● auショップ観音寺	0875-24-3434
	● auショップ観音寺国道店	0875-25-6745
	● auショップ坂出	0877-45-4610
	● auショップ郡家	0877-56-1787
	● auショップ善通寺	0877-62-4545
	● auショップフジグラン川之江店	0896-57-0988
	● auショップ松山南環状店	089-915-0241
	● auショップ清水町	089-917-6257
	● auショップ宇和島新町	0895-26-2168
	● auショップ宇和島佐伯	0895-20-0350
	● auショップ安芸	0887-32-0200
	● auショップ瀬戸	088-837-2615
	● auショップはりまや	088-826-1880
	● auショップ大津	088-878-3339
	● auショップ北島中央	088-697-2737

有限会社プロフィット 営業店舗一覧

本 社	〒689-3521 鳥取県米子市河岡500-30	0859-37-0222
	● auショップ松江西津田	0852-27-2760
	● auショップ鳥大前	0857-32-2620
	● auショップ綾南	087-876-9393
	● auショップ仏生山	087-889-8883
	● auショップイオン高知	088-826-7733
	● auショップ平井	089-955-7100
	● auショップ西条中央	0897-53-7007
	● auショップイオン新居浜	0897-31-0540
	● auショップ東予	0898-76-1411
	● RipL (サンテラス株式会社)	08512-2-1211
	● auショップ米子	0859-34-0077
	● 移信伝心館	0859-47-0077
	● auランドゆめタウン浜田	0855-25-0630
	● (有) ティーエフシーメディアラボ	0854-43-9750

■ 株主メモ (平成19年3月31日現在)

決 算 期	毎年3月31日に決算を行います。
定時株主総会	毎年6月に開催いたします。
基 準 日	3月31日
中間配当基準日	9月30日(中間配当を実施する場合)
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (お問い合わせ先)	〒100-8212/東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081/東京都江東区東砂7丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711(フリーダイヤル)
同 取 次 所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
公 告 掲 載	電子広告 ※ やむを得ない事由により電子広告によることのできない場合は、日本経済新聞に掲載致します。 ※ 決算公告に代えて、貸借対照表および損益計算書の開示は、当社ホームページ(http://www.nojima.co.jp/ir/)に掲載しております。

株主優待制度

株 主 優 待 券	3月31日及び9月30日現在で議決権を有する株主に対し、「株主優待券(10%割引)」を年2回贈呈
贈 呈 基 準	所有株式数100株以上500株未満保有の株主に対し、10,000円の優待割引券(1,000円券×10枚)を1冊、同500株以上2,000株未満保有の株主に対し、25,000円の優待割引券(1,000円券×25枚)を1冊、同2,000株以上保有の株主に対し、2冊(50,000円)をそれぞれ半期毎1回、贈呈する。
利 用 方 法	現金、デビットカード、ノジマショッピングクレジットによる支払いの場合には優待割引券の使用により通常売価の10%が割引になる。またクレジットカードによる支払いの場合には優待割引券の使用により購入金額の8%が割引になる。但し、株式会社イーネット・ジャパンでの購入の場合は後日相当額を現金で割り戻す。
有 効 期 限	● 3月31日発行基準の優待割引券/翌年1月31日まで有効 ● 9月30日発行基準の優待割引券/翌年7月31日まで有効
取 扱 店 舗	● 株式会社ノジマの全店舗 ● 株式会社イーネット・ジャパンの自社サイト上(www.enet-japan.com) ● 株式会社WAVEの全店舗 ● 株式会社テレマックスの全店舗 ※ ノジマグループ各社の店舗のない地域にお住まいの株主で、ご優待割引券を使用して、当社のお取り扱い商品をお買い求めになりたい方は、(株)イーネット・ジャパンでのご利用をお勧め申し上げます。同社をご希望されない場合は、アンケートハガキ、ファックスを使って、(株)ノジマ総務企画グループ宛に、または当社ホームページからお問い合わせフォームを使って(株)ノジマカスタマーセンター宛に住所、氏名、電話番号、株主NOと共に、商品名、メーカー名、型番名等をお知らせください。当社からご連絡させていただきます。